



瓊浦高等学校 学校通信 第 140 号
令和6年4月30日発行 電話 095-826-1261
FAX 095-820-5245



瓊浦の窓

「祝日の意味」

校長 渡川 正人

4月8日に入学式を実施し、235名の新入生を迎えて令和6年度瓊浦高校の活動が始まりました。12日には歓迎遠足では生徒の楽しそうな姿、笑顔が印象的でした。今年度も、生徒・職員一同、「瓊浦ファミリー」「心をひとつに」「日本一楽しい学校」を合い言葉に、日々精進いたします。本校の教育活動に対し、ご理解、ご協力を賜りますようよろしくお願ひいたします。

本校の校訓は「誠実・和・勤勉」です。これに加えて、校長が掲げるスローガンは引き続き「凡事徹底」とし、始業式校長訓辞や新入生オリエンテーション校長講話の中で話をしました。

◆凡事徹底

- (1) 「学習や部活動などにおける目の前の当たり前のこと」に一生懸命に全力で取り組む、手を抜かず徹底してやり抜く、最高の努力をする → 繼続する
- (2) 「日常生活の中での挨拶、掃除、マナーを守ることなど当たり前のこと」を徹底する
→ してはいけないことはしない

間もなくゴールデンウィークとなります。年間の祝日の日数は16日です。私たちはあまりその意味を考えずに過ごすことが多いように思いますが、それぞれの祝日に込められた思いは、「国民の祝日に関する法律」に記されています。5月の祝日については次のとおりです。

- ・昭和の日：激動の日々を経て、復興を遂げた昭和の時代を顧み、国の将来に思いをいたす。
- ・憲法記念日：日本国憲法の施行を記念し、国の成長を期する。
- ・みどりの日：自然に親しむとともにその恩恵に感謝し、豊かな心をはぐくむ。
- ・子どもの日：子どもの人格を重んじ、子どもの幸福をはかるとともに、母に感謝する。

他の祝日も含めてその趣旨は、美しい風習を育てつつ、よりよき社会、より豊かな生活を築きあげるために、全国民で祝い、感謝し、あるいは記念する日を祝日としています。祝日の意味を理解し、感謝の気持ちを持つ、人を敬う、過去を顧みる、自由と平和を愛するなど、人として大切なものが込められています。時には祝日の意味を考えてみるのは意義深いことだと思います。

さてこの連休の時期は、部活動では各部が高校総体に向けて一層練習に励む時期となります。昨年度は優勝旗6本（県内最多）という立派な成績でしたが、今年も春季戦の活躍が素晴らしい、ますます楽しみです。体育部、文化部ともすべての部が新1年生も含め、部員全員が心をひとつに、精一杯頑張ってくれることを願っています。

最後になりますが、2025年の創立100周年に向け、「100年の歴史を繋げ～KEIHO Family 緯の力～」のスローガンのもと、同窓会、保護者の皆様、地域の皆様のご支援を賜りながら、生徒・職員一体となって伝統と実績を誇る瓊浦高校がますます進化・発展するよう努力していきたいと考えています。

歓迎遠足

4月12日、今年度の歓迎遠足が行われました。一昨年まではコロナ禍による中止、昨年は雨天による中止ということもあり、2、3年生にとっても高校生活初となる遠足。当日は、天候にも恵まれ、暖かい春の陽気の中、全校生徒で唐八景に訪れ、楽しい時間を過ごしました。歓迎アトラクションとして行われたエイサー演舞、クラス対抗で行われた大縄飛び大会など盛りだくさんの内容で、昼食・自由時間も含め、生徒たちは思い思いに遠足を楽しんでいたようです。新入生にとっては、入学後初めて上級生と関わる学校行事となりました。これから共に学校を支えていく仲間、同士として、大いに親睦を深めていってもらいたいと思います。



入学式

4月8日、第78回生の入学式が行われました。今年入学する新入生は235名。真新しい制服に身を包み、やや緊張した面持ちで体育館に集合した生徒たち。厳粛な雰囲気の中行われた式典では、代表の奈良平 龍翔くん（普1A）から力強い入学宣誓が為され、会場にいた新入生たちも、新たな高校生活の一歩を踏み出したことを感じたようです。これから共に瓊浦で学ぶ仲間として、大いに歓迎したいと思います。



避難訓練

4月23日午後、避難訓練が行われました。今回は家庭科室で火災が発生したことを想定し、避難経路の確認、実際に避難を行った後、体育館にて消防署の方々から防災についての講話をしていただきました。講話の後半には、消火器、消火栓の使用方法が実践を交えて説明され、生徒たちは真剣に聞いていました。常日頃から防災意識をしっかりと持つて生活していくなければと改めて実感しました。



